

NEWS RELEASE

2006年7月24日
株式会社 栗本鐵工所

「自社工場で実証 トランスヒートコンテナ」

～工場間で廃熱の有効利用（大阪）～

潜熱蓄熱搬送システムを用い自社工場間で廃熱有効利用の実験を開始しました。

水道用鑄鉄管を製造する当社 加賀屋工場（大阪市住之江区）では、コージェネの導入などにより製造工程からの排熱を有効利用しておりますが、それでも低温の熱エネルギーが未利用のまま残っております。ドイツから導入した「トランスヒートコンテナ」を用い、この度 加賀屋工場の廃熱で蓄熱、川向かいの同 住吉工場へ運び、従業員用お風呂の加温に実験的に利用します。

コンテナは5 m³程の小型タイプで 約 360kWh（1,290MJ）の熱量を貯えることが出来ます。住吉工場は機械加工が主で熱源が無いことより、近く有加賀屋工場の廃熱を利用することを計画しました。高温タイプの蓄熱材を用い 80℃以上の温水を供給、現浴槽を沸かすのに使用している化石燃料を削減することができ CO₂削減につながるシステムとして検証予定。

トランスヒートコンテナは、これまで利用しにくかった低温廃熱をコンテナに効率良く蓄熱し車輦等で搬送できるシステムです。パイプラインを敷設することなく未利用の熱エネルギーを離れた需要家で利用いただくことができ、これまで使用していた化石燃料を削減することができます。現在 環境省の助成を受け三洋電機株式会社東京製作所（群馬県）で実証をすすめており、吸収式冷凍機を用いた夏季の冷房利用についても検討中です。京都議定書の達成に向け様々な対策が検討・実施されていますが、本システムが温暖化対策の一手段として貢献できますよう御提案してまいります。

実機は コンテナ2台で約1トンのCO₂削減効果を発揮します。

【当発表に関する問い合わせ先】

株式会社 栗本鐵工所 企画本部事業企画部 奥山

〒550-8580 大阪市西区北堀江1-12-19

TEL 06-6538-7706 FAX 06-6538-8547 e-mail : s_okuyama@kurimoto.co.jp



住吉工場：〒559-0021 大阪市住之江区柴谷 2-8-45



従業員用お風呂（住吉工場）



加賀屋工場：〒559-0023 大阪市住之江区泉 2-1-64



栗本鐵工所 社内工場間 小型実験

鑄鉄管を製造する加賀屋工場の廃熱を 機械加工が主で廃熱源の無い住吉工場へ運び、従業員用お風呂の給湯熱源として活用します。

コンテナ仕様： 2,440×3,230 7.8 t

蓄熱量 360kW (1,295,900kJ: 309,600kcal)



住吉工場

加賀屋工場

